



里山便り 3月号

令和8年3月31日 第283号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8

理事長 志田 政明
Tel& Fax 045-941-0987

里山保全体験（竹林の手入れ・竹細工）3/7（土）

晴れわたり陽ざしの暖かい朝を迎えました。今日の参加者は1家族で先月に引き続き2回目の参加となるご家族のため、竹林に入っの間伐は行わず竹細工に専念しました。

まずは弓矢の製作。節を中心に等分の長さに鋸で切断、ちょうど良いしなりになるように幅と厚みを鉋で割いて、両端の形を整えて紡績糸の弦を張ると弓の出来上がり。3本の矢と鞘を加えて完了。さっそく飛びぐあいをチェック。



次はけん玉の製作。細めのにぎり棒と太めの輪(玉)を用意して紡績糸で結べば、もう出来上がり。けん玉うまくなるには少し練習が必要かな。

最後におまけでカエルの組立て。手足と目と口をボンドでつけて、ゴムで結べばカスタネットの出来上がり。前回からの参加で鋸の引き方も鉋の扱いもとても上達しました。もうすぐランドセルしよっての一年生、ガンバレ!!

M. S.

田畑作業体験（ジャガイモの植付け）3/7（土）

今年から年間コースのみのプログラムに変更となり7家族の

が参加しました。参加者の皆さんは、ジャガイモ、サトイモ、そして11月サツマイモの収穫にむけて年間を通して継続的に世話をしていきます。

まずはモヤシのように伸びた芽を種芋から取り除き、へそを中心に半割りして灰を付けて下準備。下の畑は畝づくりから。牛フンを3袋まき、畝を3本つくって、植付けの溝を掘り、やっとここからクライマックス。半割りの種芋を30cmの竹串で計りながら置いていきます。種芋の間に肥料をやさしくおいて、それを繰り返して、最後に土をかけて終了。



毎年キタアカリを植えているところを、間違えて男爵を用意してしまいましたが、無事に

111個(半割りだと222個)、計14.56kgの植付けができました。収穫の目標値はいつものように10倍の150kgです。

最後に土のついた鍬を水洗いして、使った道具を片付け、春の陽ざしの中で気持ちの良い時を過ごしました。これから秋の収穫まで暑い日もやってきますが、皆さんよろしくお願いします。

M. S.

里山保全体験（シイタケの植菌） 3 / 8 （日）

この冬に間伐した、コナラやクヌギの枝を活用するイベントです。16 家族 29 名の参加で今年も開催しました。

ドリルで穴を開けたほだ木に「森 290 号」通称にく丸の種ゴマを植え付けていきます。

植菌したほだ木から早ければ 1 年後に、美味しい「原木シイタケ」が発生する予定です。

皆さん一生懸命種ゴマを植菌して、重たいほだ木を持ち帰られました。 K.M



カブトムシの越冬幼虫観察会 3 / 8 （日）

天気は晴れ、参加者 28 名が 2 グループ（前半 G、後半 G）に分かれて、越冬幼虫観察会を行いました。

まず会議室で、自然観察するときの注意、カブトムシ幼虫のオスとメスの見分け方の説明を行い、前半 G は、採集場所に向かい、後半 G は引き続き、カブトムシの国内分布や昆虫の変態等の話（前半 G は、カブトムシ幼虫観察後）を聞いた後、採集場所に向かいました。



土の中にいる幼虫を、スコップを使ってそろりと掘り、探しました。そして、採集した幼虫のお尻の方にある V の字を頼りに、オスとメスを分けましたが、意外と簡単に見分けることができました。採集したカブトムシ幼虫が無事成虫まで育つのが楽しみです。

T.N.

早春の植物観察 3 / 1 5 （日）

天気は晴れ、参加者 9 名で早春の植物観察会を行いました。

まず会議室で、今日の観察会の予定、自然観察するときの注意を行い、外に出て観察会をスタートしました。

寒い冬を乗り越えた公園内の木々には、まだ緑が少なかったですが、コブシが白い大きな花を咲かせ、早咲きの桜はピンクの花を咲かせていました。また、草本では、黄色の菜の花が畑一面に咲き、キランソウやタネツケバナが小さな可憐な花を咲かせていました。春の訪れを感じさせる観察会でした。 N.K.



ジュニアくらぶ観察会 3 / 1 5 （日）

毎年、体験してもらう紙漉き。最近では紙の原料が木であることを知っている知識のある子どもも増えています。でも、作り方までは知らないようなので、順を追って説明します。ヒメコウゾの、皮を剥いで上皮と中皮を除くところまでは準備しておきましたので、内皮の繊維をほぐすところからやりました。

ハガキサイズですので切手を貼れば、手紙を郵送することができます。文字を書くには紙の表面が滑らかにしたいので、ほぐす作業は大切です。内皮をハンマーで叩いて、叩いて、叩きまくって細かくほぐします。





この作業は地味に大変です。時間をかけてほぐしました。ほぐした内皮をフードプロセッサに水と一緒にして攪拌します。この少しとろみのある液体をすげた（簀笥）に流して、均一にしたら、水気を切って、乾燥させれば和紙の完成です。

すげたを使う時に両手は水の中につけるので気温が低い日は辛い作業ですが、この日は比較的暖かく、水温も気にならず、綺麗な和紙にすることにみんな集中できたようです。
H.T.

炭焼き

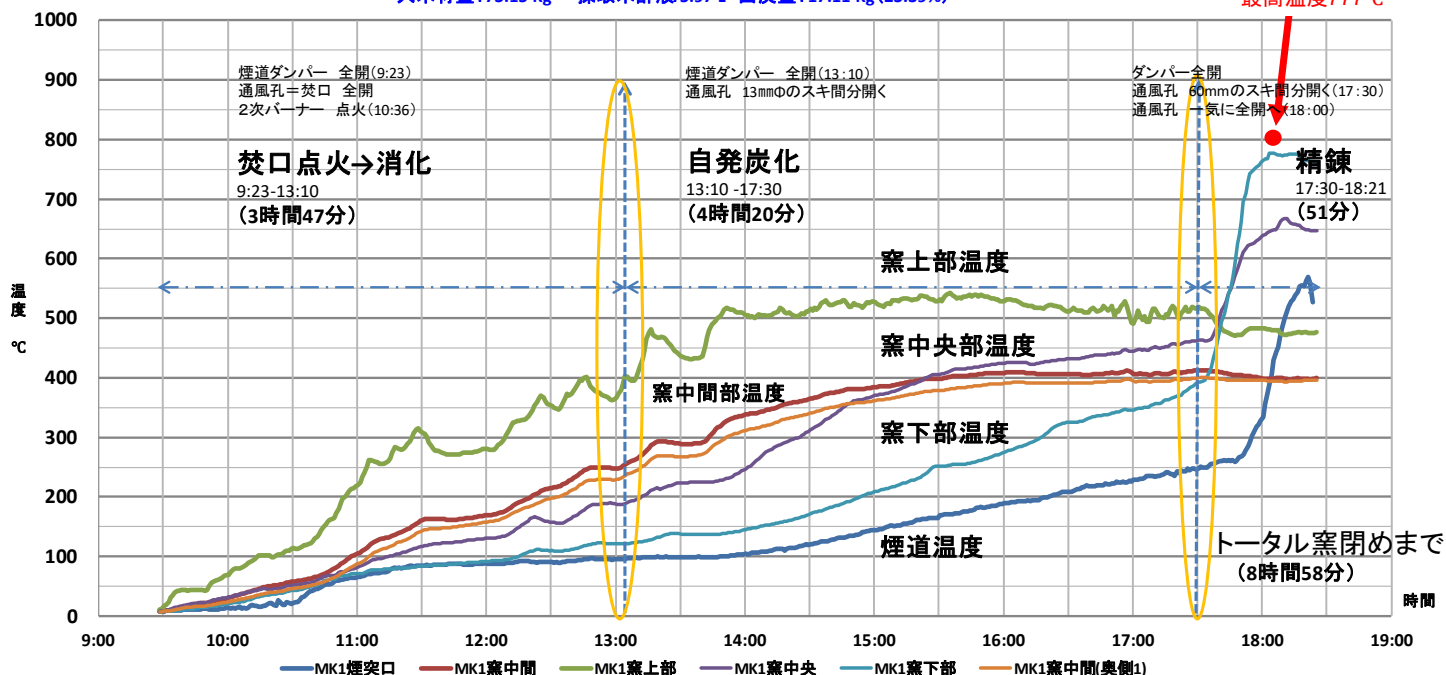
2026年3月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第264回(窯改修後22回目) 炭焼き、気温 10.4℃、天気 晴れ

炭材: 間伐ケヤキ(伐採年2026年2月(?), 乾燥日数、乾燥重量減は不明)

入木材量: 73.15 Kg 採取木酢液: 5.97 L 出炭量: 17.11 Kg (23.39%)

MK-1 窯下部
最高温度777℃



ドラム缶窯(MK-1)による木炭焼き 3/14 日(土)

炭材: 公園内の間伐けやき材(横浜市公園事務所より提供)

[入窯木材量] 73.15 kg

[出炭量(率)] 17.11 kg (23.39%)

[採取木酢液] 5.97 L 他に無煙炭化器による軟炭収量: 4袋、合計 9.7 kg



窯詰め(火入れ)



窯出し前(火入れ後)

先月に続き、今月はたたら製鉄の燃料用として2回目の木炭焼きを行いました。宮谷戸窯(ドラム缶: MK-2)は、昨年、前半、炭焼き後の整備(清掃)不良が原因で自発炭化温度があまり上がらず、収量・質ともに悪い状況が続いていました。

その後、煙突内部のタール等を徹底して除去したことで、

昨年秋頃から非常に安定した性能を維持できています。今月もブルーフレームが長時間観察されました。タール分が多いのは先月と同様でしたが、使用炭材(けやき)の乾燥が少し進んだのか、木酢液などの抽出液は先月よりかなり減少しました。たたら燃料用としての木炭焼きはあと1回の予定
炭焼部会

◆ボランティア体験者

2家族3名(うち2名はジュニア倶楽部会員の親子)

◆体験内容: 窯詰め、火入れ、窯出しのほか、炭材作り(竹材の採寸、竹割り、束ね)や薪割りなどの関連作業、竹細工(カエルのカスタネット組立て)※炭材作りではレシプロソー(電動鋸)を使っての裁断を体験していただきました。



4月5月の行事

月	日	曜日	行 事	時間		集合場所	参加費
4	4	土	里山保全体験(竹林の手入れ・竹細工)	9:30	~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	4	土	年間コース(サトイモの植付け)	13:00	~ 15:00		
	5	日	ジュニアくらぶ オリエンテーション	10:00	~ 12:00	レストハウス2F	-
	12	日	春の昆虫観察会	9:00	~ 12:00		300/100
	12	日	里山保全体験(タケノコ掘り)1部	10:00	~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	1000/600
	12	日	里山保全体験(タケノコ掘り)2部	13:30	~ 15:30		1000/600
	26	日	晩春の植物観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	26	日	ネイチャークラフト作り	10:00	~ 15:00	円形広場	500
	11	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	3回 1000
	18	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00	~ 17:00		
	25	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00	~ 12:00		
	18	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プ(筍の成長記録)	9:00	~ 11:30		300/100
5	2	土	横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2026	10:00	~ 17:00	パシフィコ横浜ABホール	
	3	日		10:00	~ 17:00		
	4	月		10:00	~ 16:00		
	9	土	年間コース(ジャガイモの追肥と土寄せ)	10:00	~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	
	10	日	米作り体験・代かき(1回目/4回)	10:00	~ 12:00		2000/1500
	10	日	ジュニアくらぶ 代かき体験	10:00	~ 12:00		-
	17	日	「ローザ・つづきく」・パラまつり2026 模擬店(食べ物・飲み物)体験(竹細工・綿菓子)	10:00	~ 15:00	円形広場	入場無料
	23	土	歴史未来フェス	9:00	~ 17:00	歴史博物館	
	24	日		9:00	~ 17:00		
	24	日	初夏の野鳥観察会	8:00	~ 11:00	レストハウス2F	300/100
	24	日	ネイチャークラフト作り	10:00	~ 15:00	円形広場	500
	30	土	米作り体験・田植え(2回目/4回)	13:00	~ 16:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	-
	31	日	大池の生き物観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	31	日	ジュニアくらぶ 田植え体験	10:00	~ 14:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	-
	9	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	3回 1000
	16	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00	~ 17:00		
	23	土	炭焼き(窯出し、炭材作り)	9:00	~ 12:00		
	31	日	炭焼き(たたら製鉄講座鍛造実習3回目/4回)	9:00	~ 17:00		1000

<応募方法> 行事開催 10 日前までに一行事ごとに HP または往復はがきで参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入してお申し込み下さい。申し込み多数の場合は抽選になります。抽選の結果は行事の1週間前までにご連絡致します。HP <https://tzksatokura.org/> お問い合わせ tsuzuki-park@tmtv.ne.jp



4 月 保全田畑部会 予定表		
日	曜	作業予定 9時-12時 13時-17時
2	木	(H)バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、施肥
7	火	(D/A3)園路の草刈り
9	木	(I-①)米作り作業-粃まき
14	火	(H)バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、消毒 (B2)タケノコ掘りポピンズナーサリー園児(10:00-12:00)
16	木	(B1)竹林の整備、竹細工の日(日本ヒルティ用器づくり) (I-④)ボランティア会員研修(11:00-)
21	火	(B2)タケノコ掘りーキッズフォレ園児(10:00-12:00) (B2)筍選別除去(すみれが丘用)
23	木	(大池)鯉のぼり揚げ (B2)タケノコ掘りーキッズフォレ園児(10:00-12:00)
28	火	(B1/2/3)竹林の整備、メンマ(収穫/カット/茹/塩漬け) (B3)筍選別除去(夕方:竹フェス用)
30	木	(園内)パトロール、(I-①)部会会議

4 月 炭焼部会 予定表		
日	曜	作業予定 9時-12時 第2土曜のみ17時
8	(水)	・竹細工(竹とんぼ、蛙、ぶんぶんゴマ、一輪挿し)
10	(金)	・シイタケの植菌 ・木炭用炭材(薪)の準備 ・特別体験プログラム「竹の成長観察」分担案
11	(土)	・窯詰め(MK-1使用、木炭用炭材) ・特別プログラム役割分担 ・部会代表者会議報告
12	(日)	「里山保全体験 タケノコ掘り」A.M. P.M.
15	(水)	・竹細工(竹とんぼ、蛙、ぶんぶんゴマ、一輪挿し)
17	(金)	・煙突設置 ・料理準備
18	(土)	・火入れ(MK-1:木炭焼) ・パイオ炭(無煙炭化器:枯れ竹) ・竹細工組立て(カエルのカスタネットほか) ・特別体験プログラム「竹の成長観察」
22	(水)	・竹の伐採/竹フェス・ピラミッド用(5m、12本)
24	(金)	・煙突撤去・清掃
25	(土)	・窯出し(木炭)、竹細工(カエルの組立てほか) ・翌月(5月)の予定表配布・説明、竹フェスの役割分担・確認 ・筍掘り(すみれが丘販売用)